

2025年度 財務の概要

1. 決算の概要

2025 年度決算において、貸借対照表では総資産が約 194 億 7,700 万円となり、前年度比で約 6 億 4,400 万円減少した。これは主に中学校舎建て替え工事に伴う支払資金の減少及び施設設備の除却によるものである。負債は約 22 億 8,500 万円となり、約 1 億 2,500 万円減少した。主な要因は未払金の減少である。なお、外部負債である借入金計画通り返済している。基本金は約 211 億 600 万円となり、約 1 億 3,500 万円減少した。これは主に中学校舎整備工事に伴う取崩し等によるものである。

事業活動収支では、事業活動収入が約 46 億 8,800 万円となり、予算比で約 1 億 5,900 万円増収となった。一方、事業活動支出の合計は約 52 億 700 万円となり、約 5 億 1,900 万円の基本金組入前当年度支出超過となった。当年度の基本金組入額・取崩額と前年度繰越収支差額を加えた結果、翌年度繰越収支差額は約 39 億 1,400 万円の支出超過となった。事業活動別に見ると、教育活動収支では学生生徒等納付金の収入減少により、約 4 億 6,800 万円の支出超過となった。教育活動外収支では、資産運用による受取利息・配当金と借入金利息の収支差として約 6,900 万円の収入超過となった。教育活動及び教育活動外収支を合算した経常収支差額は約 3 億 9,900 万円の支出超過となった。

また、特別収支では施設設備関係の寄付金、補助金、資産処分差額に加え、学校法人会計基準の改正に伴い当年度のみ計上が必要となった賞与引当金特別繰入額の影響により、収支差が約 1 億 2,000 万円の支出超過となった。

資金収支では、支払資金の計画的な執行の結果、翌年度繰越支払資金が約 37 億 3,200 万円となり、2024 年度末比で約 2 億 6,700 万円減少した。

計算書の種類	計算書の概要	
貸借対照表	年度末における資産・負債・純資産を示し、学校法人の財政状態を明らかにする。	
	基本金	学校法人の教育研究活動に必要な資産のうち、継続的・計画的に維持していくべき資産の額を事業活動収入から組入れた金額
	第1号基本金	校地、校舎、機器備品、図書など固定資産の取得価額
	第2号基本金	将来固定資産を取得する目的で積み立てた預金などの金額
	第3号基本金	奨学基金、研究基金など資産の額
	第4号基本金	運営に必要な運転資金の額（文部科学大臣の定める額）
事業活動収支計算書	教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他の活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すもの。法人の経営状態を明らかにする。	
	教育活動収支	経常的な収支のうち、教育活動外収支以外のもの
	教育活動外収支	経常的な収支のうち、財務活動（資金調達・資金運用）及び収益事業に係る活動によるもの
	経常収支差額	経常的な事業活動の収支
	特別収支	特殊な要因によって一時的に発生した臨時的なもの
	基本金組入前当年度収支差額	基本金組入れ前の事業活動収支の収支差。
	基本金組入額	当該年度に基本金として組入れた額
	事業活動収入	学校法人の純資産の増加をもたらす収入
資金収支計算書	当該会計年度（4月1日～翌年3月31日）に行った諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金及び預貯金）のてん末を表す。	
	学生生徒等納付金収入	授業料収入、入学金収入、施設設備資金収入 等
	手数料収入	入学検定料収入、証明手数料収入 等
	教育研究経費支出	教育研究のために支出する経費
	管理経費支出	学校法人業務（総務・人事・経理等）に関するものや、教職員の福利厚生、学生募集のための経費
	資金収入調整勘定	前期末前受金（当該年度の活動に対応する収入が前年度以前の資金の受入となったもの）、期末未収入金（当該年度の活動に対応する収入が翌年度以降に資金の受入となるもの）
	資金支出調整勘定	前期末前払金（当該年度の活動に対応する支出で前年度以前の支払いとなったもの）、期末未払金（当該年度の活動に対応する支出で翌年度以降の支払いとなるもの）
活動区分資金収支計算書	資金収支計算書の科目を3つの活動区分（教育活動・施設整備等活動・その他の活動）に分けて、活動毎の資金の流れを示す。	

(1) 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位 ; 円)

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
固定資産	16,579,784,630	16,515,619,447	16,256,375,691	15,812,924,132	15,478,035,504
流動資産	4,175,372,378	4,050,123,173	4,318,035,854	4,307,991,592	3,998,765,800
資産の部合計	20,755,157,008	20,565,742,620	20,574,411,545	20,120,915,724	19,476,801,304
固定負債	1,198,463,948	1,190,828,074	1,186,728,906	1,135,723,731	1,106,685,209
流動負債	1,110,320,161	960,974,839	1,282,962,754	1,273,689,232	1,178,003,966
負債の部合計	2,308,784,109	2,151,802,913	2,469,691,660	2,409,412,963	2,284,689,175
基本金	19,725,596,723	20,022,211,423	20,750,398,725	21,241,268,956	21,106,477,945
繰越収支差額	△ 1,279,223,824	△ 1,608,271,716	△ 2,645,678,840	△ 3,529,766,195	△ 3,914,365,816
純資産の部合計	18,446,372,899	18,413,939,707	18,104,719,885	17,711,502,761	17,192,112,129
負債及び純資産の部合計	20,755,157,008	20,565,742,620	20,574,411,545	20,120,915,724	19,476,801,304

イ) 財務比率の経年比較

(単位 ; %)

	比 率	算式 (*100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	固定資産構成比率	固定資産 総資産	▼	79.9	80.3	79.0	78.6	79.5
2	流動資産構成比率	流動資産 総資産	▲	20.1	19.7	21.0	21.4	20.5
3	固定負債構成比率	固定負債 負債 + 純資産	▼	5.8	5.8	5.8	5.6	5.7
4	流動負債構成比率	流動負債 負債 + 純資産	▼	5.3	4.7	6.2	6.3	6.0
5	運用資産余裕比率※	運用資産 - 外部負債 経常支出	▲	2.2	2.1	2.0	1.9	1.8
6	純資産構成比率	純資産 負債 + 純資産	▲	88.9	89.5	88.0	88.0	88.3
7	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 負債 + 純資産	▲	△ 6.2	△ 7.8	△ 12.9	△ 17.5	△ 20.1
8	固定比率	固定資産 純資産	▼	89.9	89.7	89.8	89.3	90.0
9	固定長期適合率	固定資産 純資産 + 固定負債	▼	84.4	84.2	84.3	83.9	84.6
10	流動比率	流動資産 流動負債	▲	376.1	421.5	336.6	338.2	339.5
11	総負債比率	総負債 総資産	▼	11.1	10.5	12.0	12.0	11.7
12	負債比率	総負債 純資産	▼	12.5	11.7	13.6	13.6	13.3
13	前受金保有率	現金預金 前受金	▲	679.1	793.2	792.5	709.2	680.2
14	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産 退職給与引当金	▲	29.5	33.0	35.5	51.9	53.6
15	基本金比率	基本金 基本金要組入額	▲	98.9	99.1	98.5	99.2	99.5
16	減価償却比率	減価償却累計額 (図書を除く) 減価償却資産取得価額 (図書を除く)	～	56.1	58.5	57.3	59.4	59.1
17	積立率	運用資産 要積立額	▲	95.1	91.7	84.3	77.8	74.7

▲ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらとも言えない

※運用資産余裕比率の単位は、(年)である。

(2) 事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位 ; 円)

科 目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	3,909,847,720	3,674,387,300	3,348,497,150	3,106,689,480	3,022,224,067
	手数料	42,821,022	33,025,252	33,517,713	33,626,545	34,808,431
	寄付金	59,019,502	49,584,361	112,117,922	56,046,569	50,175,215
	經常費等補助金	952,361,405	962,314,060	866,630,337	980,747,834	1,199,823,783
	付随事業収入	10,581,158	78,100,235	84,720,961	81,125,227	85,829,749
	雑収入	98,241,775	148,492,067	140,364,056	252,556,358	171,683,167
	教育活動収入計	5,072,872,582	4,945,903,275	4,585,848,139	4,510,792,013	4,564,544,412
	事業活動支出の部					
	人件費	3,037,428,310	3,104,731,843	2,988,514,443	3,033,774,805	2,825,546,810
	教育研究経費	1,504,740,097	1,475,975,389	1,478,761,976	1,532,014,807	1,762,575,185
	管理経費	341,759,102	409,431,356	410,020,905	390,426,779	440,865,755
	徴収不能額等	1,667,950	2,967,750	3,140,750	2,885,781	3,675,600
	教育活動支出計	4,885,595,459	4,993,106,338	4,880,438,074	4,959,102,172	5,032,663,350
	教育活動収支差額	187,277,123	△ 47,203,063	△ 294,589,935	△ 448,310,159	△ 468,118,938
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	88,870,655	50,699,447	46,513,261	42,649,904	69,924,286
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	88,870,655	50,699,447	46,513,261	42,649,904	69,924,286
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	957,950	874,650	791,350	708,050	624,750
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	957,950	874,650	791,350	708,050	624,750
特別収支	教育活動外収支差額	87,912,705	49,824,797	45,721,911	41,941,854	69,299,536
	經常収支差額	275,189,828	2,621,734	△ 248,868,024	△ 406,368,305	△ 398,819,402
	事業活動収入の部					
	資産売却差額	115,500	54,999	16,337,900	38,306,174	733,334
	その他の特別収入	46,984,684	18,120,271	73,317,599	47,049,264	52,503,271
	特別収入計	47,100,184	18,175,270	89,655,499	85,355,438	53,236,605
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	178,042,492	53,230,196	147,668,169	70,362,758	57,684,237
	その他の特別支出	38,000	0	2,339,128	1,841,499	116,123,598
	特別支出計	178,080,492	53,230,196	150,007,297	72,204,257	173,807,835
	特別収支差額	△ 130,980,308	△ 35,054,926	△ 60,351,798	13,151,181	△ 120,571,230
	基本金組入前当年度収支差額	144,209,520	△ 32,433,192	△ 309,219,822	△ 393,217,124	△ 519,390,632
	基本金組入額合計	△ 856,584,711	△ 296,614,700	△ 728,187,302	△ 490,870,231	△ 78,812,047
	当年度収支差額	△ 712,375,191	△ 329,047,892	△ 1,037,407,124	△ 884,087,355	△ 598,202,679
	前年度繰越収支差額	△ 566,848,633	△ 1,279,223,824	△ 1,608,271,716	△ 2,645,678,840	△ 3,529,766,195
	基本金取崩額	0	0	0	0	213,603,058
	翌年度繰越収支差額	△ 1,279,223,824	△ 1,608,271,716	△ 2,645,678,840	△ 3,529,766,195	△ 3,914,365,816
(参考)						
事業活動収入計		5,208,843,421	5,014,777,992	4,722,016,899	4,638,797,355	4,687,705,303
事業活動支出計		5,064,633,901	5,047,211,184	5,031,236,721	5,032,014,479	5,207,095,935

イ) 財務比率の経年比較

(単位 ; %)

	比 率	算式 (*100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	人件費比率	人件費 経常収入	▼	58.8	62.1	64.5	66.6	61.0
2	人件費依存率	人件費 学生生徒等納付金	▼	77.7	84.5	89.2	97.7	93.5
3	教育研究経費比率	教育研究経費 経常収入	▲	29.2	29.5	31.9	33.6	38.0
4	管理経費比率	管理経費 経常収入	▼	6.6	8.2	8.9	8.6	9.5
5	借入金等利息比率	借入金等利息 経常収入	▼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	基本金組入後収支比率	事業活動支出 事業活動収入 - 基本金組入額	▼	116.4	107.0	126.0	121.3	113.0
7	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 経常収入	～	75.7	73.5	72.3	68.2	65.2
8	寄付金比率	寄付金 事業活動収入	▲	1.5	1.2	2.9	2.0	1.8
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 経常収入	▲	1.1	1.0	2.4	1.2	1.1
9	補助金比率	補助金 事業活動収入	▲	18.9	19.3	19.4	21.3	25.9
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 経常収入	▲	18.5	19.3	18.7	21.5	25.9
10	基本金組入率	基本金組入額 事業活動収入	▲	16.4	5.9	15.4	10.6	1.7
11	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事業活動収入	▲	2.8	△ 0.6	△ 6.5	△ 8.5	△ 11.1
12	経常収支差額比率	経常収支差額 経常収入	▲	5.3	0.1	△ 5.4	△ 8.9	△ 8.6

▲ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらとも言えない

(3) 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 ; 円)

収入の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
学生生徒等納付金収入	3,909,847,720	3,674,387,300	3,348,497,150	3,106,689,480	3,022,224,067
手数料収入	42,821,022	33,025,252	33,517,713	33,626,545	34,808,431
寄付金収入	70,549,850	57,347,561	129,587,098	92,338,140	81,339,190
補助金収入	982,261,405	968,309,060	916,079,837	988,139,834	1,216,209,783
資産売却収入	1,333,028,064	55,000	436,443,251	40,100,000	200,000,000
付随事業・収益事業収入	11,933,381	78,100,235	84,720,961	81,125,227	85,829,749
受取利息・配当金収入	88,870,655	50,699,447	46,513,261	42,649,904	69,924,286
雑収入	98,111,957	148,671,592	140,313,582	252,602,014	164,549,425
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	594,555,000	494,119,000	522,015,700	563,979,528	548,697,950
その他の収入	4,916,384,523	2,757,267,956	3,481,030,780	2,997,611,662	2,341,726,943
資金収入調整勘定	△ 744,821,678	△ 697,511,330	△ 639,468,151	△ 749,119,471	△ 756,219,879
前年度繰越支払資金	3,886,878,304	4,037,395,084	3,919,230,455	4,136,874,668	3,999,664,601
収入の部合計	15,190,420,203	11,601,866,157	12,418,481,637	11,586,617,531	11,008,754,546

(単位 ; 円)

支出の部	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
人件費支出	3,021,680,259	3,097,678,683	2,967,408,007	3,067,158,093	2,845,385,935
教育研究経費支出	1,096,142,500	1,069,521,494	1,089,795,626	1,098,430,852	1,330,645,432
管理経費支出	273,641,574	341,647,087	344,146,268	326,224,676	382,311,884
借入金等利息支出	957,950	874,650	791,350	708,050	624,750
借入金等返済支出	16,660,000	16,660,000	16,660,000	16,660,000	16,660,000
施設関係支出	757,674,646	55,485,925	895,762,983	409,266,341	311,979,305
設備関係支出	153,821,302	83,850,919	210,068,978	124,542,977	66,311,364
資産運用支出	4,287,139,918	1,427,969,378	1,619,714,659	1,102,499,346	965,325,542
その他の支出	1,889,104,873	1,906,064,877	1,730,204,110	1,993,349,308	1,748,472,220
資金支出調整勘定	△ 343,797,903	△ 317,117,311	△ 592,945,012	△ 551,886,713	△ 391,198,571
翌年度繰越支払資金	4,037,395,084	3,919,230,455	4,136,874,668	3,999,664,601	3,732,236,685
支出の部合計	15,190,420,203	11,601,866,157	12,418,481,637	11,586,617,531	11,008,754,546

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位 ; 円)

科 目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	5,072,289,153	4,944,084,975	4,584,527,786	4,509,485,736	4,555,848,154
教育活動資金支出計	4,391,426,333	4,508,847,264	4,399,010,773	4,489,972,122	4,558,178,653
差引	680,862,820	435,237,711	185,517,013	19,513,614	△ 2,330,499
調整勘定等	△ 89,704,428	△ 123,183,707	105,232,595	7,455,901	△ 95,155,434
教育活動資金収支差額	591,158,392	312,054,004	290,749,608	26,969,515	△ 97,485,933
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	2,148,539,500	265,524,500	1,324,615,365	1,200,578,496	711,124,341
施設整備等活動資金支出計	2,311,495,948	488,336,844	1,434,831,961	1,032,809,318	808,290,669
差引	△ 162,956,448	△ 222,812,344	△ 110,216,596	167,769,178	△ 97,166,328
調整勘定等	43,037,362	△ 7,849,677	164,800,672	△ 135,713,160	△ 54,804,406
施設整備等活動資金収支差額	△ 119,919,086	△ 230,662,021	54,584,076	32,056,018	△ 151,970,734
小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	471,239,306	81,391,983	345,333,684	59,025,533	△ 249,456,667
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	3,980,014,597	2,456,814,772	2,606,927,762	1,782,100,985	1,725,882,670
その他の活動資金支出計	4,301,216,214	2,653,955,686	2,734,216,911	1,974,583,205	1,740,825,118
差引	△ 321,201,617	△ 197,140,914	△ 127,289,149	△ 192,482,220	△ 14,942,448
調整勘定等	479,091	△ 2,415,698	△ 400,322	△ 3,753,380	△ 3,028,801
その他の活動資金収支差額	△ 320,722,526	△ 199,556,612	△ 127,689,471	△ 196,235,600	△ 17,971,249
支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額)	150,516,780	△ 118,164,629	217,644,213	△ 137,210,067	△ 267,427,916
前年度繰越支払資金	3,886,878,304	4,037,395,084	3,919,230,455	4,136,874,668	3,999,664,601
翌年度繰越支払資金	4,037,395,084	3,919,230,455	4,136,874,668	3,999,664,601	3,732,236,685

ウ) 財務比率の経年比較

・教育活動資金収支差額比率

(単位 ; %)

	比 率	算式 (*100)	評価	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	▲	11.7	6.3	6.3	0.6	△ 2.1

▲ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ~ どちらも言えない

2. その他

①資産運用の状況

本学院は、教育・研究活動の継続性と将来にわたる安定した財務基盤の構築を目的に、資金の適正かつ効率的な運用を行っている。運用にあたっては、有価証券等の運用総額を全金融資産の50%以内にとどめる制限のもと、現時点では定期預金や債券を中心とした安全性の高い運用を行っている。

リスク管理面では、対象債券を原則として格付機関からA格以上を取得しているものに限定し、格付け低下時には資金運用委員会で速やかに対応を協議・決定する体制を整備している。ガバナンス体制として、理事長を統括責任者とし、事務局長や経理課長等で構成する資金運用委員会が運用方針の策定や執行の承認を担っており、運用の状況は四半期ごとに常任理事会等へ報告され、適切な時期に理事会の承認を得ることで健全な運営を徹底している。

①-1. 総括表

(単位 ; 円)

種 類	当年度 (令和8年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	499,980,000	513,090,800	13,110,800
(うち満期保有目的の債券)	(499,980,000)	(513,090,800)	(13,110,800)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	1,850,000,000	1,734,211,900	△ 115,788,100
(うち満期保有目的の債券)	(1,850,000,000)	(1,734,211,900)	(△ 115,788,100)
合 計	2,349,980,000	2,247,302,700	△ 102,677,300
(うち満期保有目的の債券)	(2,349,980,000)	(2,247,302,700)	(△ 102,677,300)
時価のない有価証券	8,000,000		
有価証券合計	2,357,980,000		

①-2. 明細表

(単位 ; 円)

種 類	当年度 (令和8年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	2,349,980,000	2,247,302,700	△ 102,677,300
株式	0	0	0
投資信託	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	2,349,980,000	2,247,302,700	△ 102,677,300
時価のない有価証券	8,000,000		
有価証券合計	2,357,980,000		

②学校債の状況 なし

③寄付金の状況

寄付金の種類	金額 (円)	主な内容
特別寄付金	76,139,190	『かがやく』応援募金、食堂及びカフェ用券売機導入 他
一般寄付金	5,200,000	「学院のために」
現物寄付	4,697,890	科研費備品、卒業生からの卒業記念品 他
合 計	86,037,080	

④補助金の状況

経常費等補助金

補助金の種類	金額（円）	主な内容
（国）	755,377,600	私立大学等経常費補助金、授業料等減免費交付金
（県）	298,048,750	福岡県私立高等学校・中学校・幼稚園経常費補助金 他
（市）	7,393,091	福岡市私立幼稚園運営費補助金 他
（施設型給付費）	139,004,342	各市町村の施設型給付費
合 計	1,199,823,783	

施設設備補助金

補助金の種類	金額（円）	主な内容
（国）	12,045,000	私立学校施設設備費補助金（教育研究装置） 他
（県）	0	－
（市）	4,341,000	福岡市乳児等通園支援事業 他
合 計	16,386,000	

⑤収益事業の状況 なし

3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

①経営状況の分析

純資産構成比率や流動比率は極めて高く、中長期・短期ともに財務の健全性は依然として非常に強固な状態を維持している。ただし、校舎建て替え等の施設整備に伴う資金の固定化により、手元資金の流動性は漸減傾向になっている。経営成績の面では学生生徒等納付金比率の低下が続くなか、日本私立学校振興・共済事業団（以下、「私学事業団」という）が定量的な経営判断指標として重視する本業の現金収支「教育活動資金収支」が支出超過となった。これに伴い事業活動収支差額比率も支出超過となり、経常的な収支均衡の面で課題が生じている。

②経営上の成果と課題

経営上の大きな成果として、私学事業団の経営判断において重要な指標である「人件費比率」が前年より大幅に低下・改善し、固定費の抑制に成功したことが挙げられる。さらに補助金や寄付金など多角的な外部資金の獲得が進んだことも、本業の減収を一定水準下支えする結果となった。一方で課題として、入学者数は増加傾向にあるものの、在籍者数の減少に伴い、それに連動する主たる財源（学生生徒等納付金）が減少している点が挙げられる。加えて、昨今の物価高騰の影響から、教育研究経費や管理経費といった各種コストが増加傾向にあり、収支をさらに圧迫する要因となっている。

③今後の方針・対応策

私学事業団の各指標を適正水準へと是正・維持するため、まずは新校舎をはじめとする最新インフラを強みに変え、魅力ある教育プログラムの発信を通じて志願者・在学生数を確実に確保し、基幹収入である納付金比率の回復につなげていく。同時に、成果の出ている人件費コントロールを継続しつつ、物価高で増加傾向にある諸経費の精査や業務効率化を徹底し、経常支出全体の圧縮によって収支の均衡（黒字化）を目指す。さらに、これらの取組を強固なガバナンス体制のもとでの安全な資金運用や、補助金・寄付金の戦略的獲得と組み合わせることで、手元資金の流動性をしっかりと担保していく方針である。